

地域経済の回復及び持続的発展に 向けた緊急要望

令和3年9月

香川県商工会議所連合会

会長 泉 雅文

一般社団法人 香川県建設業協会

会長 森田 紘一

新型コロナウイルス感染症対策として、政府をはじめ関係機関において、企業の事業継続や雇用確保に向けて様々な対策が講じられていますが、地域経済は深刻な状況が続いています。

地域経済の下支えとなるインフラ整備の着実かつ強力な推進により、国土強靱化に向けた防災・減災対策や、将来を見据えた社会経済基盤を強化し、地域経済の回復及び持続的発展を図る必要があるため、緊急要望を取りまとめましたので、特段の措置を講じられるよう強く要望します。

1 公共事業予算の香川県への重点的な配分

四国地方整備局関係の令和3年度当初予算（令和2年度第3次補正予算を含む。）については、四国全体で前年度当初予算より6%増加する中で、香川県は、直轄事業（5%減少）、補助・交付金事業（7%減少）ともに大幅に減少している。南海トラフ巨大地震対策では、香川県は重点受援県でありながら、四国の防災拠点としての機能も求められており、インフラ整備の重要度及び優先度は他県に勝るとも劣らない。今年度の大型補正予算を早期に編成するとともに、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を当初予算から確実に確保し、香川県への重点的な配分を行うこと。

2 道路ネットワークの整備等

物流の効率化や地域間交流の拡大、大規模災害時の緊急輸送機能の強化のため、道路ネットワークの整備に必要な予算を確保すること。また、全国的に交通事故が多発する香川県においては、先の千葉県八街市での事故も踏まえ、通学路の安全対策を推進し子供達の安全を早期に確保するために必要となる予算を確保すること。

① 環状道路の整備

- ・ 高松環状道路の計画段階評価の早期着手

② 直轄国道の整備

- ・ 一般国道11号大内白鳥バイパス及び豊中観音寺拡幅の事業促進並びに善通寺豊中間の4車線化の早期実現

③ 空港・港湾等のアクセス道路の整備

- ・ 県道円座香南線及び高松坂出線道路改築事業の促進

④ IC及びスマートICの整備

- ・ 坂出北インターチェンジのフルインター化及び観音寺スマートインターチェンジ（仮称）の早期完成・開通

⑤ 通学路の交通安全対策の推進

3 四国の新幹線導入

災害時における在来線の代替輸送として新幹線の強靱さが再認識されている中、四国の活性化はもとより、防災力の強化を図るためにも、道路鉄道併用橋である瀬戸大橋を有効活用し、岡山から四国の4県都を結ぶ四国の新幹線導入は不可欠であり、整備計画格上げに向けた法定調査の実施に必要な予算措置を確実に講じること。

4 港湾の整備

高松港での物流の効率化や機能強化を図るため、「高松港国際物流ターミナル」及び「高松港複合一貫輸送ターミナル」の整備に必要な予算を確保すること。

また、瀬戸内海の魅力を活かしたクルーズ船を誘致するための「サンポート高松での「クルーズ船受け入れ環境の整備」や、坂出ニューポートプランに示されている「坂出港総社地区多目的ターミナル整備による坂出港ふ頭再編」を進めること。

5 大規模災害対策

大規模な被害が想定される地震・津波対策及び風水害・土砂災害対策として、流域治水を推進するとともに、海岸・河川堤防の整備や、河川改修、砂防施設等の整備に必要な予算を確保すること。

また、高松空港が国の空港防災拠点計画において、四国で唯一「航空輸送上重要な空港」に位置付けられているが、産業や観光の振興などに期待される役割を果たすため、安心・安全を向上させる「計器着陸装置の高カテゴリー化（CATⅢ）」の早期実現に向けた取組を進めること。

6 予防保全による老朽化対策

定期点検等により確認された修繕が必要な施設を早期に解消するとともに、効率的で持続可能な予防保全型メンテナンスを確立するため、必要な予算を確保すること。

7 地方整備局等の体制強化

頻発する大規模自然災害の脅威・危機に即応するため地方整備局等（香川県内の官公署）の継続的な体制の充実・強化を図ること。